

2020年5月30日
第1回理事会 議事録

日時：2020年5月30日（土）17:15～18:00

会場：Zoomを使用したオンライン会議

出席者数：理事22名（理事総数：22名）、監事2名

<出席者>窪田幸子、東賢太郎、飯嶋秀治、飯田卓、石井美保、岡田浩樹、小川さやか、亀井伸孝、川口幸大、木村周平、湖中真哉、里見龍樹、椎野若菜、曾我亨、田辺明生、中川理、名和克郎、真島一郎、松村圭一郎、丸山淳子、箕曲在弘、森田敦郎（以上理事）。岸上伸啓、三尾裕子（以上監事）。

1. 審議事項1：第29期代表理事の選出

- 清水展第28期代表理事が任期満了により退任するため、定款第24条第2項に基づき第29期代表理事の選任を行うことが説明された。理事（代表理事・業務執行理事含む）選出規則に基づき、投票を行った結果、過半数の得票を得た窪田幸子理事が第29期代表理事に選任された。なお窪田幸子理事は席上その就任を承諾した。

2. 審議事項2：第29期業務執行理事の選出

- 窪田幸子第29期代表理事より、第29期業務執行理事について下記の通り提案がなされた。
業務執行理事（4名）
総務担当：真島一郎、広報担当：名和克郎、会計担当：里見龍樹、庶務担当：箕曲在弘
提案について投票を行った結果、賛成多数で代表理事提案が承認された。

3. 審議事項3：各種委員会の構成について

- 窪田代表理事より、第29期の各種委員会構成について説明がなされた。特に、学会誌のJ-STAGEアップロード担当については第28期理事会より和文誌・英文誌の各編集委員会内にそれぞれJ-STAGE担当者を置くこととなっていること、今期も同じ体制で運用することを確認した。また、『文化人類学』編集委員会内の役割名を変更したことが報告された。理事による審議の結果、文言調整の上、承認された。

4. 審議事項4：2020年度事業計画（案）について

- 箕曲業務執行理事（庶務担当）より、2020年度事業計画（案）について資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

5. 審議事項5：2020年度予算（案）について

- 里見業務執行理事（会計担当）より、2020年度予算（案）について資料に基づき説明がなされた。特に、新型コロナウイルス感染症に伴う2020年度会費徴収特例措置の実施による会費収入減を見込んだ緊縮的な予算案となっていることが説明され、審議の結果、2020年度予算（案）が承認された。
- 窪田代表理事より、現在の学会の会員構成等から想定すると、今後学会の財政が厳しくなること、再度の会費値上げの検討もしていかなくてはならないことが説明された。

6. 報告事項1：庶務理事報告

- 箕曲業務執行理事（庶務担当）より、現在学会からの推薦候補者を募集中の育志賞について、日本学術振興会から受付期間延長の連絡があり、それに合わせて学会推薦のための公募の締切を延長したことを報告。公募の締切延長により、第29期研究育成委員会が審査を行うことを確認。
- 前期理事会より検討中の新型コロナウイルス感染症に伴う2020年度会費徴収特例措置について、今後総務会を中心に引き続き検討することを報告。

7. 報告事項2：会計理事報告

- ・里見業務執行理事（会計担当）より、植松東アジア研究基金 2020 年度研究促進事業の選考結果について報告。今回の採択件数は 4 件。

8. その他

- ・窪田代表理事より、今期理事会でまず取り組む課題として、①新型コロナウイルス感染症に伴う会費減免措置の検討、②法人として寄付を受けるための規定整備を行うことが説明された。また、会員からオンラインジャーナルを作ってはどうかとの提案を受けていること、新型コロナ・ウイルス流行の影響による科学研究費補助金の繰越に関して日本学術振興会への要望書の提出を検討すること、学会賞受賞記念講演の動画の学会ホームページでの公開について検討していくことが説明された。
- ・木村周平理事より、新型コロナウイルス感染症に関する学会員緊急アンケートの結果について学会ホームページでの公開を予定していることが説明された。
- ・第 2 回理事会は 2020 年 6 月 21 日（日）14：00～（オンライン開催）

以上